

小田原市役所の中を見て回り、「ここで働いてみたい」と思いました

青少年課 小田 栄子（一般事務 平成21年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

就職活動中、自然が豊かで、なにより生まれ育った小田原市から離れがたいという意識が自分の中にあったため、地元である小田原市で働いていこうと考えました。

市役所を志望したきっかけとしては、市役所の実施している業務に関して、「小田原市に関することを広く仕事として扱える」という点に魅力を感じたため、志望しました。

小田原市で仕事をするという点に関して市民窓口業務しか想像できなかったため、小田原市役所の中を見て回り、近隣の支所・施設を訪れ、その場所で働く職員の方々の熱心さ、親切な対応等を目にし、「ここで働いてみたい」という思いを抱きました。エントリーシートを書く一歩前に、自分の意思で見学することができたというのも大きな要因かもしれません。



現在の仕事内容

現在は青少年課で青少年の健全育成に関する業務に携わっています。

今年は主に成人式の開催に関する業務を担当し、新成人で構成された成人式運営委員会のサポートをしています。新成人のみなさんのアイデアと元気のよさ、テンポのよい会話に会うたびに刺激をもらっています。長期間同じメンバーで顔をあわせていると「なあなあ」になりがちなので、議論を曖昧に終わらせないように注意しながら、成人式に向けて会議を行っています。

入庁後1～2年目は、デスクに向かって行う事務作業だけではなく、市役所を離れた場所で活動を行う業務を担当し、子どもたちが宿泊事業等を通じて少しずつ成長していく姿を見ることができ、私が入庁当初にイメージしていた市役所の業務とはかなり異なっていました。子どもや普段仕事をしている市民のかたを対象にイベントを実施するため、土曜日、日曜日の出勤が多く、一年目は少々戸惑ったことを覚えています。



仕事のやりがい

市民の方々と直接顔を合わせ、協力しながら業務を実施していく点にやりがいを感じます。

青少年課全体での業務は小学生を対象とした「地域・世代を超えた体験学習事業」や、小田原市在住・在学のかたを対象とした「おだわら自然楽校」、中高生ボランティア団体など、小田原市の小中学生、高校生や地域の方々と深く関わる事業が多く存在し、関係団体のかたの活気や職場の方々のアイデアに触れる機会が多く、「地域の力」を身近に感じます。関係団体の方々からストレートな意見やアドバイスを頂くこともあり、背筋を伸ばし、業務に当たらなくてはと常々感じています。

ひとつの業務に関しても周囲の方々の力をお借りして仕事に対応することが多いので、様々な人と協力して業務を行うことに魅力を見出せるかたにはよい職場だと思います。

受験生の皆さんへのメッセージ

就職活動中は、自分と企業とのマッチングを探っていく部分が多く、そのためにも、自分にとって何が譲れないことで、どういったことなら「やってみたい、好きになれそうか」ということを考えるようにしていました。自分が何に興味があるかをしっかりと固めることが重要だと思います。外から見える・与えられるイメージだけにこだわらず、働くことによって、自分の中に生まれるものを見つけて、大切にしてください。